

40 ( '02 鳥取大 )

【難易度】… 難

$a_1 = 1, a_2 = 6$  ならびに  $2(2n+3)a_{n+1} = (n+1)a_{n+2} + 4(n+2)a_n$  ( $n = 1, 2, 3, \dots$ ) で定義される数列  $\{a_n\}$  について、次の問いに答えよ。

- (1)  $b_n = a_{n+1} - 2a_n$  とおくと、 $b_n$  を  $n$  の式で表せ。
- (2)  $a_n$  を  $n$  の式で表せ。
- (3) 初項から第  $n$  項までの和  $S_n = a_1 + a_2 + \dots + a_n$  を求めよ。

【テーマ】：隣接3項間漸化式

## 方針

$b_n = a_{n+1} - 2a_n$  とおくので、数列  $\{b_n\}$  に関する漸化式を導きます。(2) では、(1) で導いた漸化式を解きます。(3) は (等差数列)  $\times$  (等比数列) の和を求める計算方法を考えますが、2 回やらないと答えが得られません。

## 解答

- (1)  $b_n = a_{n+1} - 2a_n$  とおくと、 $b_{n+1} = a_{n+2} - 2a_{n+1}$  であるから、これを与式へ代入して、

$$\begin{aligned} 2(2n+3)a_{n+1} &= (n+1)(b_{n+1} + 2a_{n+1}) + 4(n+2)a_n \\ &= (n+1)b_{n+1} + 2(n+1)a_{n+1} + 4(n+2)a_n \\ (n+1)b_{n+1} &= 2(n+2)a_{n+1} - 4(n+2)a_n \\ &= 2(n+2)(a_{n+1} - 2a_n) \\ &= 2(n+2)b_n \end{aligned}$$

両辺を  $(n+2)(n+1) \neq 0$  で割ると、

$$\frac{b_{n+1}}{n+2} = 2 \cdot \frac{b_n}{n+1}$$

であるから、 $c_n = \frac{b_n}{n+1}$  とおくと、

$$c_1 = \frac{b_1}{2} = \frac{a_2 - 2a_1}{2} = 2, \quad c_{n+1} = 2c_n$$

となるので、数列  $\{c_n\}$  は、初項 2、公比 2 の等比数列である。したがって、

$$c_n = 2 \cdot 2^{n-1} = 2^n$$

より、 $b_n = (n+1)2^n \dots$  (答)

- (2) (1) より、 $a_{n+1} - 2a_n = (n+1)2^n$  であるから、両辺を  $2^{n+1} \neq 0$  で割ると、

$$\frac{a_{n+1}}{2^{n+1}} - \frac{a_n}{2^n} = \frac{n+1}{2}$$

$d_n = \frac{a_n}{2^n}$  とおくと、

$$d_1 = \frac{a_1}{2} = \frac{1}{2}, \quad d_{n+1} - d_n = \frac{n+1}{2}$$

より、数列  $\{d_n\}$  の階差数列の一般項は  $\frac{n+1}{2}$  である。ゆえに、 $n \geq 2$  のとき、

$$\begin{aligned}
 d_n &= d_1 + \sum_{k=1}^{n-1} \frac{k+1}{2} \\
 &= \frac{1}{2} + \frac{1}{4}n(n-1) + \frac{1}{2}(n-1) \\
 &= \frac{1}{4}n(n+1)
 \end{aligned}$$

これは  $n=1$  のときも成り立つので,  $d_n = \frac{1}{4}n(n+1)$  である. ゆえに,

$$a_n = \frac{1}{4}n(n+1)2^n \iff a_n = n(n+1)2^{n-2} \dots (\text{答})$$

(3) (2) より,

$$\begin{array}{r}
 S_n = a_1 + a_2 + a_3 + \dots + a_n \\
 -) \quad 2S_n = \quad 2a_1 + 2a_2 + \dots + 2a_{n-1} + 2a_n \\
 \hline
 -S_n = a_1 + b_1 + b_2 + \dots + b_{n-1} - 2a_n
 \end{array}$$

$b_n = a_{n+1} - 2a_n$  より,  $-2a_n = b_n - a_{n+1}$  であるから,

$$S_n = -a_1 - (b_1 + b_2 + \dots + b_{n-1} + b_n) + a_{n+1} \dots \textcircled{1}$$

ここで,  $T_n = b_1 + b_2 + \dots + b_n$  とおくと,  $b_n = (n+1)2^n$  であるから,

$$\begin{array}{r}
 T_n = 2 \cdot 2^1 + 3 \cdot 2^2 + 4 \cdot 2^3 + \dots + (n+1)2^n \\
 -) \quad 2T_n = \quad 2 \cdot 2^2 + 3 \cdot 2^3 + \dots + n \cdot 2^n + (n+1)2^{n+1} \\
 \hline
 -T_n = 2 \cdot 2 + \quad 2^2 + \quad 2^3 + \dots + \quad 2^n - (n+1)2^{n+1}
 \end{array}$$

$$\begin{aligned}
 T_n &= -2 - (2 + 2^2 + 2^3 + \dots + 2^n) + (n+1)2^{n+1} \\
 &= -2 - \frac{2(2^n - 1)}{2 - 1} + (n+1)2^{n+1} \\
 &= n \cdot 2^{n+1}
 \end{aligned}$$

ゆえに,  $\textcircled{1}$  へ代入して,

$$\begin{aligned}
 S_n &= -1 - n \cdot 2^{n+1} + (n+1)(n+2)2^{n-1} \\
 &= \{-4n + (n^2 + 3n + 2)\}2^{n-1} - 1 \\
 &= (n^2 - n + 2) \cdot 2^{n-1} - 1 \dots (\text{答})
 \end{aligned}$$



#### 解説

漸化式のような知識が盛り込まれた問題なので, 中途半端な知識では完答は難しいでしょう. 一つ一つの計算は基本的なものです. ところがそれが融合されることで解きにくいと感じる問題です. 漸化式や和の計算の総復習にはちょうどよい演習問題です.

(1) は, 与えられた隣接 3 項間漸化式を置き換えにより隣接 2 項間漸化式にするという問題です. 数列  $\{b_n\}$  の漸化式を導きたいので, まず  $b_{n+1}$  を考えてみます.  $(n+1)b_{n+1} = 2(n+2)b_n$  という形の漸化式を見たことがない人には難しいでしょうから, 経験を積んで様々な漸化式にあたっておく必要があります. (2) では, (1) で求めた  $b_n$  を用いて  $a_n$  を求めます. ここでは階差数列に関する漸化式の知識が必要です. (3) は (等差数列)  $\times$  (等比数列) の和の計算方法で求めますが,  $a_n$  の多項式部分が 2 次式であるため 2 回計算を実行しなければ和が求められません.

(1) の  $b_n$  を用いると解答がすっきりとまとめられるでしょう.